
ゴジラ（85年版）の首相は何故三原山の作戦が完遂した際に涙を流したのだろうか？

凪竜

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ゴジラ（85年版）の首相は何故三原山の作戦が完遂した際に涙を流したのだろうか？」

【Zコード】

N3498F

【作者名】

凪竜

【あらすじ】

命の大切さについて考えてみた。 10/29 加筆修正済

(前書き)

読者によつては不快に感じる表現がありますので「注意」で

何故劇中で首相が涙を流したのか？

それはもう決まりますよ

「ゴジラ（1985年版）」という命を自分の命令で殺害しようとしているから当然良心の呵責を感じているのでしょうか（しかしながらゴジラは生きていますが。命と生命については続編の「ゴジラvsビオランテ」でも語られています）

命を大事にするといつのはとても大切な事です

最近になつて命を軽んじるような事件が増えています

少し昔の事件になりますが秋葉原殺傷事件

あれも容疑者が盗んだトラックで人をはねとばした挙げ句に通り魔なんかせずに、選挙車の方を盗みだして『○戦記』のテルーのコスプレをした後に『命を大切にしない奴は大嫌いだ！』と油性マジック（マッキー推奨）で書かれたプラカード掲げて秋葉原を回っていた方が悲劇にならずにただの喜劇になつていた筈です

そつちの方が例え警察に捕まつても厳重注意くらいで済んだでしょうし、世間的にも秋葉原で愉快な事件が起きたで終わつてた筈です（マスクは狂つたようにオタク叩きの特番を垂れ流すでしょうが）だからといって某種死に主人公を差し置いて目立つてしまつた自由みたいに人命を取らないだけでフリーダムに振る舞うのも駄目です

あれは只の自己満ですから

命を大切にするというのは自分の命を賭ける覚悟でやるべきなのです
自分さえ良ければという考え方はもう止めて「キブリの命です」勞
うようにしましょう

勿論ですが魚や豚などの生命を持った生き物を殺害して食べる行為
も禁止です

蚊を叩き潰すのも、蚤を捻り潰すのも駄目です
何故ならば命を本当に大切にするにはそれなりの覚悟が必要だから
です

自分の親族が脱獄した殺人鬼に命を奪われても、決して犯人を恨ん
では行けません

裁判で賠償金を請求するのも、世論を巧みに操つて犯人を死刑に追
い込むのも駄目です

敵討ちも駄目です

今時の女々しい若者間で忠臣蔵「コツコ」なんて流行りませんし、実行
する忠誠心も勇気も無いでしょう

まあ、要するに私が言いたいのは命を大切にする法律を作れと言つ
ことです

命は何よりも優先されるべきですから

ぶつちやけ言つと偉大なる徳川綱吉公が制定した生類憐れみの令を
全生命に適用するよつ書き直してから制定すべきです

ちなみに、さつき私は唐揚げとチキンナゲットと卵かけご飯を食べ
ましたが別に気にすることは有りません

何故なら

そんな馬鹿馬鹿しい法律作つても、科学マンセーになつてしまい命
を軽んじる風潮のできた今の世の中では正直に守ってくれる人間な
んて誰も居ないのでですから（笑）

【終劇】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3498f/>

ゴジラ（85年版）の首相は何故三原山の作戦が完遂した際に涙を流したのだろ

2010年10月22日00時51分発行